

マイクロ・プラスチック問題を語る —その危険性と対策の必要性・可能性



略歴 1992年3月東京農工大学工学部化学工学科卒業、同大学院工学研究科博士課程前期、博士課程後期修了後、同大学院共生科学技術研究院講師、ユニチカ株式会社、日本学術振興会博士研究員を経て、東京農工大学工学部助手、広島大学大学院工学研究院助教授、2016年4月より現職

語り人 広島大学大学院工学研究科教授
中井智司先生

日時 2019年11月22日(金) 18:30~20:30

場所 広島市まちづくり市民交流プラザ
研修室A(北棟5F)

〒730-0036 広島市中区袋町6-36 ☎082-545-3911

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/shietsu.html>

参加費 1000円

(謝金・資料費・会場費として、ただし学生・院生は無料)

当日先着50名程度まで

事前の参加申し込みを条件としませんが、準備の都合上参加される場合、語る会連絡先までメール・FAXにてご連絡をお願いします。特に今回は会の終了後、忘年会を持ちますので、これに参加される方は予めご連絡ください。なお、実行委員会についてのお問い合わせも最下欄まで。

主催 時代を語り建築を語る会実行委員会

石丸紀興 小泉直子 佐伯達郎 柴田直美 高東博視

瀧口信二 富沢佐一 前岡智之 福馬晶子 前岡智之

森保洋之 松田智仁 山下和也 李明

語る会実行委員会連絡先 広島市中区八丁堀1-23-1113

<mailto:nisimar5@hotmail.com> TEL/FAX 082-223-7226

後援:(公社)日本都市計画学会中国四国支部
(公社)広島県建築士会

今回は環境問題、特に地球環境問題です。今や日本は世界第二位のマイクロ・プラスチック排出国という汚名をかぶせられているのに、その対策のみならず、その問題把握さえ極めて鈍感で、問題意識は世界の若者にも伍するようなレベルであるといってもよいくらいでしょう。今やクジラやウミガメ、海中生物を苦しめ、死においやるようなマイクロ・プラスチック、海中に蓄積しているプラスチックをどのように処理すべきでしょうか。そもそも、我々の生活の場からどのように問題のない形にできるのでしょうか。それは生活スタイルのあり方から始まって、収集・処理のシステム、生産のシステム等に及ぶ壮大な政策体系を必要としていることでしょう。これは地球温暖化対策と取り組むという就任したばかりの小泉環境大臣の、視野に入っているのでしょうか。といっても環境大臣を責めるだけでは不十分で、我々の行動・提案も問われています。



ドミニカ共和国首都
サントドミンゴを流
れるオザマ川の光景